

## 『国際地域経済研究』第17号の刊行にあたって

附属経済研究所長 森 徹

名古屋市立大学大学院経済学研究科附属経済研究所年報『国際地域経済研究』は、2000年3月の創刊以来、今回で17号目の刊行を迎えました。本号では、はじめに、2015年度に実施された3種類の研究プロジェクトから、4つの論文を掲載しております。1本目の「東日本大震災による名証上場企業の市場流動性への影響」は、2013年度から3年間にわたって行われた共同研究の成果をまとめたものであり、研究代表者のみが所員となって共同研究を実施する従来型の「プロジェクト研究」としては、最後の成果報告論文となっています。

これに対して、2本目の「愛知県の保育サービス施策と少子化動向―愛知県市町村データによる分析―」と3本目の「名古屋市における大都市制度のあり方～基本的方向性と住民自治，社会インフラの整備・改修～」は、2015年度より新たに開始された8つの「サブ・クラスター研究」のうち、2つの研究プロジェクトについて、1年目の研究成果を報告した内容となっています。他の6つの「サブ・クラスター研究」プロジェクトについては、論文形式の研究成果報告を本号に掲載するには至りませんでした。2016年3月17日に、すべての「サブ・クラスター研究」について、研究経過の報告が行われ、この研究経過報告会での報告内容は、本号の「2015年度附属経済研究所活動報告」編に掲載されております。

4本目の「名古屋市税財政の現状と課題」は、経済学研究科の特任教授と専任教員が2015年度単年度に行った共同研究の成果報告として掲載されたものです。特任教授と専任教員による共同研究は、経済学研究科が特任教授を招聘するようになった2012年度以降、研究科の研究プロジェクトとして行われてきましたが、特任教授、専任教員ともに附属経済研究所の「所員」と位置づけられるようになった2015年度以降は、「単年度プロジェクト研究」として、附属経済研究所の共同研究の一環と位置づけることに致しました。

以上、3種類にわたる4本の共同研究成果報告を収めた「論文」編の後には、「2015年度附属経済研究所活動報告」編を設け、上記の「サブ・クラスター研究」経過報告の他、2015年11月20日に開催致しました「第20回公開シンポジウム」の概要報告を掲載しております。

このように、本号は、2015年度に附属経済研究所の下で行われた各種の共同研究の成果や経過を報告する内容となっておりますが、今年度（2016年度）におきましては、従来型の「プロジェクト研究」は姿を消し、昨年度より開始された8つの「サブ・クラスター研究」が2年度目を迎え、附属経済研究所における共同研究の中核となって参ります。

改めて、8つの「サブ・クラスター研究」のテーマと今年度における研究組織を記しておきますと、次頁の表の通りです。研究に携わる教員等の延べ人数は、研究代表者8名、共同研究者17名（以上、経済学研究科専任教員・特任教授；附属経済研究所所員）、客員研究員9名（本学他研究科専任教員、他大学教員、経済学研究科研究員）、研修生2名（経済学研究科博士後期課程学生）の計36名に上り、初年度（昨年度）より5名の増加となっています。

また、今年度の「第21回公開シンポジウム」（経済学研究科・附属経済研究所共催）につきましては、

臼杵政治教授を研究代表者とするサブ・クラスター研究のテーマに関連した内容で、11月23日(水、祝日)に、名古屋市立大学病院大ホールにて開催する予定であります。「公開シンポジウム」の詳細につきましては、今後、附属経済研究所ホームページ (<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/~kenkyujo/event/sympo.html>) 等で順次ご案内申し上げますので、どうか皆様のご支援、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、サブ・クラスター研究の遂行に当たりましても、皆様のご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年度における「サブ・クラスター研究」課題、研究組織等一覧

番号	研究課題	研究期間	研究組織			
			研究代表者	共同研究者	客員研究員	研修生
1	データで見る日本経済と経営	H27.4～ H32.3	坂和秀晃(准)	三澤哲也(教) 渡邊直樹(准)	程島次郎 (名商大教授) 山田哲弘 (中央大准教授) 棚橋則子 (東北学院大助教)	佐々木均(D)
2	保育サービス価格の女性の就業・出生行動に対する影響	H27.4～ H32.3	山本陽子(教)	奥田真也(准) 木谷名都子(准) 木村匡子(准) 樋口裕城(講)	焼田党 (南山大教授)	
3	中部圏の産業集積の革新についての研究	H27.4～ H30.3	河合篤男(教)	出口将人(准)	松本正義 (研究員) 高橋和志 (研究員)	
4	医療会計ファイナンス研究	H27.4～ H32.3	吉田和生(教)	三澤哲也(教) 奥田真也(准) 高橋二郎(准)		
5	両大戦間期における諸問題の制度・歴史分析 —現代世界へのインプリケーション	H27.4～ H32.3	木谷名都子(准)	藤田菜々子(教) 山口明日香(講)	井上泰夫 (名古屋外大教授)	
6	老後の所得保障における私的年金(確定拠出年金)の課題	H27.4～ H31.3	臼杵政治(教)	三澤哲也(教)		大久保信一(D)
7	名古屋市における大都市制度のあり方に関する研究	H27.4～ H30.3	森 徹(教)	諏訪一夫(特) 中山徳良(教) 森田雄一(教)	赤木博文 (名城大教授) 三浦哲司 (人間文化研究科 准教授)	
8	学習管理へのICTの活用とその効果の計量に関する分析の基盤づくり	H27.4～ H29.3	茨木 智(准)	河合勝彦(教)		

※ (特), (教), (准), (講), (D) は、経済学研究科の特任教授, 教授, 准教授, 専任講師及び博士後期課程学生であることを示す。